

第24回 はがき歌 全国コンテスト

優秀作品掲載

正岡子規が日常の出来事を短歌形式ではがきなどに書き、友人に送ったのが始まりといわれている「はがき歌」。今年は全国そして海外から、8270首の作品が寄せられ、上位賞10点・佳作100点の計110点が、3月21日に子規記念博物館で表彰されました。上位賞受賞作品と市内在住の人の佳作19作品を紹介します。(敬称略)

松山市長賞

片思いの君へ
化石からジュラ紀の春へ
ひとつ飛びできたらいいな
君と二人で
神奈川県横浜市
合志 珠希

松山市教育長賞

おにいちゃんへ
ふしぎだな
おにいちゃんがすきなものは
なぜかわたしもすきになる
市立久米小学校
武智 美友

受賞者の声

受賞者の希望により
コメントを
削除いたしました。

愛媛県知事賞

先逝く皆へ
よもつくに
父母兄集う夕餉刻
一人うごんの青ねぎ刻む
松山市
渡部 万須美

受賞者の声



渡部 万須美さん
愛媛県知事賞という
事實という
思いがけな
い知らせに
正直驚いて
います。
父の新盆を済ませ、ふと
浮かんだ心模様を言葉にし
ました。両親が、早世した
兄と再会している姿を想い
つつ、「私は今しばらく元
気で暮らして行くよ」とい
う気持ちを、みんなの好き
だったうごんに託しまし
た。墓前に報告したいと思
います。ありがとうございます。

日本郵便株式会社 四国支社長賞

恋人へ
全身の血圧測るかのうように
たたいまの後
抱きしめよ君
京都府京都市
林田 麻裕

審査員特別賞

審査員(敬称略)
坪内 稔典 審査委員長
(俳人・佛教学大学名誉教授)
永田 紅(歌人)
吉田 類(酒場詩人)
片上 雅仁(松山歌人协会会长)
竹田 美喜(子規記念博物館館長)

ケアマネさんへ

黒猫と目と目が合った
それだけが
けふのできごと
柿でもむかふ
京都府京都市
増田 邦彦

いつも待たせる貴方へ

長針に
トンボを乗せて廻ってる
いつも貴方待って
花時計
青森県青森市
齊藤 守

恋しく想う母へ

せせらぎの瀬音切なき
五線譜に書きたいような
秋の夕暮れ
東京都渋谷区
大森 知子

私の病(統合失調症)へ

寄り添って
「君」と歩く決めたから
晴れの秋雨の日
前見ていこう
秋田県鹿角市
山本 優子

故郷の友へ

あの山に
熊が出るって本当か
茸採りにも行かれんなあや
広島県福山市
林 泰義

正岡子規特別賞

家族へ
あの時は
可愛いかったと
過去形で
誕生日のたび
何で言うん
徳島県阿南市
阿地 莞汰

佳作

市内在住(通学)の人
お父さんへ
暑い中
毎日仕事ありがとう
だけどねるの
ふとんがいいよ
野本 心彩

友へ

遊歩道紅葉(あか)の
仕組みを話す君
きれいなだけで
良かったんだよ
豊富 瑞歩

塾の先生へ

先生が
テストの採点してる時
✓の音が部屋にひびく
山内 康輔

自転車部ビーチームの人へ

けんたいかい
うれしいけれど
きんちょうと
プレッシャーで
ぼくつぶれちゃいそう
中矢 大智

戦死した婚約者へ

色あせし
写真一枚今も持つ
あなた二十二
私九十二
渡部 秋子

おばあちゃんへ

しおつけて
キユワカじればちよううまい
ばあちゃんくれた
夏のごちそう
眞鍋 航太

子沢山の母へ

晩年に
九人育てた母が言う
いつも大きな
腹が愛しい
北川 正治

弟へ

アイスねだる
君の右手に百円を
持たせてあげれる
兄になりたい
飯本 真矢

お姉ちゃんへ

お姉ちゃん
サイレンみたいに怒るけど
言いたいことは
分かっているから
大堀 新平

お父さんへ

8年間
いつもパパが休んでくれる
今日はわたしが生まれた日
岡田 結愛

ひとりの朝が好き自分へ

朝方の
うっすら光る白い朝
僕だけが知る
ひとりの世界
手嶋 七海

お父さんとおじいちゃんへ

父さんがった魚を
じいさんがさばき
今夜は楽しいえんかいだ
河合 千陽

おとうさんへ

ありがとう
おしごといつもがんばって
おうちでビールよういしてます。
つね川 りん

担任の先生へ

放課後の居残りは
まだ続きそうです。
もう少し先生と話したいから。
和田 歩輝

大きな雲へ

少しずつ
形が変わる君を見て
毎回思う
夏よ終わるな
吉本 珠菜

お母さんへ

ママよりも
パパをしってるよ
わたしはね
毎日してるこうかん日記
渡部 美園

お母さんへ

けんかして
本当の気持ちくずれてく
本当はけんかしたくないのに
久保 心音

お母さんへ

部活後の
夜道を急ぐ僕のこと
窓から見てるの
知ってるよ
水野 大地

子規記念博物館 ☎ 931
5566・5934 3416